

## 研究成果及び活動一覧 (2000. 1. 1~12. 31) [五十音順]

- A : 著書、論文、書評など  
 B : 学会での口頭発表その他の活動  
 C : 講演、論説など  
 D : 学術的調査

## 井上英明

- A : 1 (論文)「語誌としての〈想像力〉について」『想像力と現実描写』(明星大学青梅校舎日本文化学部、小堀桂一郎編集責任者、井上英明刊行責任者) pp. 3~24、3. 10.  
 2 (論文)「『伊勢物語』成立私考 第三稿——みやびとは異質な『平仲物語』の世界——」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第8号、pp. 1~12、3. 25.  
 3 (論文)「物語の出で来はじめのおや」『平安文学の想像力』・論集平安文学 第五号(後藤祥子、増田繁夫、田中隆昭、鈴木日出男、中野幸一編)、勉誠出版、pp. 148~163、5. 20.  
 4 (論文)「日本神話の諸問題」東方學會報 No. 78 東方学会編、pp. 19~21、7. 28.
- B : 1 第四十五回国際東方学者会議、(東京会議)、セミナー II「日本神話の諸問題」司会(パネリスト、神野志隆志(東京大学)、佐藤弘夫(東北大学)、ロバート・ボーゲン(カリフォルニア大学)、大隅和雄(東京女子大学)の諸教授)於日本教育会館、5. 19.  
 2 平成12年度全国大学国語国文学会春期大会シンポジウム司会。テーマ「変革期を迎えた大学と国語国文学研究」、基調講演・有馬朗人(前文部大臣)、パネリスト、井出祥子(日本女子大学)、仁平道明(東北大学)、小森陽一(東京大学)の諸教授  
 3 第1回 JANTA セミナール、シンポジウム司会、パネリスト、グレンス・カラン(NZ 大使館二等書記官)、古宇田敦子(東洋大学)  
 4 全国大学国語国文学会常任理事、事務局長(学会運営、年間)  
 5 日本文体論学会常任理事(学会運営、年間)  
 6 早稲田大学比較文学会常任理事(学会運営、年間)  
 7 日豪ニュージーランド教師連盟理事長(学会運営、年間)
- C : 1 (論説) 第1回 JANTA セミナーを終えて「日豪ニュージーランド教師連盟会報」No. 68、pp. 1~2、4. 20.  
 2 (講演)「レディ・ムラサキから紫式部へ」於佐倉国際文化大学、8. 5.
- D : 1 ニュージーランド・オーストラリア諸大学歴訪、主として太平洋の新しい大学・マオリ神話調査、3. 15~4. 5.

## 牛村 圭

- A : 1 “Tokyo War Crimes Trial Reconsidered : Orientalism and Pal’s Dissenting Opinion”, 『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第8号、pp. 65~71、3. 25.  
 2 「歴史記述の論理と想像力——レーリング判事の日本——」、明星大学日本文化学部

- 編『想像力と現実描写』、pp. 348～366、3. 10.
- 3 担当項目「今村均回顧録」、佐伯彰一編『自伝の名著 101』新書館、pp. 160～161、11. 25.
  - 4 担当項目「虫」、平川祐弘編『小泉八雲事典』恒文社、12. 30.
  - 5 (翻訳) テツオ・ナジタ「商いの語り——日常から生まれたディスクール——」、栗原他編『越境する知 2 語り：つむぎだす』、東京大学出版会、pp. 19～48、8. 8.

#### 岡田恒雄

- A : 1 書評：「西堂行人著『ハイナー・ミュラーと世界演劇』」、『演劇映像』第41号、pp. 85～88、早稲田大学演劇映像学会 3. 25.
- B : 1 研究発表：「フランク・ヴェーデキント『カイト侯爵』について」、中央大学人文科学研究会——近代劇の成立研究会、中央大学駿河台記念館、2. 29.
- 2 シンポジウム/パネリスト：「世阿弥の能」(「観世元雅の能について」)、世阿弥学会——第10回 世阿弥忌の集い、足立区ギャラクシティー、8. 8.
- C : 1 明星大学能楽講座「シェイクスピアと能楽」コーディネーター(『英語能・ハムレット』より独吟、講演『能の現在と未来』、公演『能・オセロー』、鼎談『能・狂言の古典と新作——出演：上田邦義、津村禮次郎、野村萬斎他、6. 15.)
- 2 『『忠臣蔵』の世界』明星大学青梅キャンパス第16回公開講座、6. 15。(明星大学情報・日本文化学部育星会『青梅会報』第17号、pp. 97～104)

#### 加藤めぐみ

- A : 1 「オーストラリア文学に見る想像上の日本人：茶屋の娘から仮想敵まで」、明星大学日本文化学部編、『想像力と現実描写』、pp. 329～347、3. 10.
- 2 「90年代のオーストラリア文学」、『オセアニアを知る事典』新訂増補版、平凡社、p. 336、3. 21.
  - 3 発表要約：「オーストラリア文学に見る日本人のイメージ：初期の作品から」(平成11年12. 4. 第1回 JANTA セミナー)、日豪ニュージーランド教師連盟編、『JANTA 会報』、pp. 3～4、4. 20.
  - 4 翻訳：ジェフリー・ブレイニー著『オーストラリア歴史物語』(著者前書き、第1～9章、訳者後書きを担当)、明石書店、9. 20.
  - 5 講義要約：「オーストラリア彼是——その歴史、社会、文化」、明星大学情報・日本文化学部育星会編、『青梅会報』第17号、pp. 65～72、10. 13.
- B : 1 オーストラリア・ニュージーランド文学会理事運営、年間
- C : 1 「オーストラリア彼是——その歴史、社会、文化」、明星大学青梅キャンパス第16回公開講座、5. 27.
- 2 「文学から見たアボリジニの人々」、川崎市教育文化会館 春の成人学校オーストラリア講座、5. 30.
  - 3 「文学に見る歴史、社会、文化」、浦和市立中央公民館 市民講座「オーストラリア文化・芸術紀行」、11. 6.

- 
- 4 「オーストラリア文学に見る日豪関係」、浦和市立中央公民館 市民講座「オーストラリア文化・芸術紀行」、11. 13.
- D : 1 オーストラリア文学に見る日豪関係について：オーストラリア、キャンベラ Australian Defence Force Academy 及び National Library of Australia において資料収集、研究打ち合わせ、3. 27～4. 1.
- 2 20 世紀オーストラリア文学にみる日本人像（平成 12 年度文部省科学研究費萌芽の研究指定）：オーストラリア、キャンベラ Australian Defence Force Academy 及び National Library of Australia において資料収集、研究打ち合わせ、8. 15～25.

### 河野石根

- A : 1 大型構造物と景観 科研総合研究報告書
- C : 1 環境美術について——実地調査と分析——明星大学公開講座

### 古田島洋介

- A : 1 「ソウルで漢文は今……」、勉誠出版「アジア遊学」第 12 号、pp. 75～90、1. 20.
- 2 「漢文・漢詩に対する想像力」、『想像力と現実描写』（明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集・第三輯、[編集責任者] 小堀桂一郎、明星大学日本文化学部）pp. 285～311、3. 10.
- 3 注釈：岩波書店《鷗外歴史文学集》第 12 巻『漢詩』（上）、381ps、3. 14.
- 4 「漢文教育は消滅するのか——窮状の再認識と再生への一提言——」、東京学芸大学海外子女教育センター「国際教育研究」第 20 号、pp. 1～13、3. 25.
- 5 「現代における漢文訓読の意義」、『明星大学紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第 8 号、pp. 31～47、3. 25.
- 6 講演筆録：「明治初期の漢文訓読と『文明論之概略』」、慶應義塾福澤研究センター「近代日本研究」第 16 巻、pp. 141～161、3. 31.
- B : 1 シンポジウム／参加＋司会＋記録：国際日本文化研究センター劉建輝助教授 [主宰] シンポジウム「東アジア比較文学史の可能性を考える」に参加し、第一日後半「古代編」の司会および第二日の記録をつとめる。国際日本文化研究センター、3. 11-12.
- 2 学会／翻訳＋通訳：第 26 回中日教師研究会にて小堀桂一郎氏の基調講演「国民教育論」を翻訳・通訳 [中国語]。国立教育会館、3. 26.
- 3 学会／発表：中国日本文学研究会第 7 回大会およびシンポジウム「日本文学——百年の回顧と展望」(9. 23-26.) に参加し、「日本文学中〈漢文学〉的衰落」を発表 [中国語]。中国：上海市、上海外国語大学・逸夫図書館 6 階報告庁、9. 26.
- 4 学会／参加＋司会：第 5 回東アジア比較文化国際会議 (10. 14-15.) に参加し、シンポジウム「東アジア文化圏における〈カミ〉なるもの」の司会をつとめる。國學院大学（渋谷）百周年記念館視聴覚室。10. 14.

小堀桂一郎（日刊新聞、週・月刊雑誌所掲の談話、短文を除く）

- A : 1 (論文)「「聖断」への道—鈴木貫太郎」、『神道時事問題研究』第413号、pp. 1~6、神道時事問題研究所、3. 1.
- 2 (講義筆録)「心の教育と伝統文化」、『日華交流教育会紀要』25号、pp. 17~24、3. 1.
- 3 (論文)「タナトスの顔」、『想像力と現実描写』(共同研究論集第三輯) pp. 107~164、明星大学日本文化学部編、3. 10.
- 4 (論文)「「どちな・きりしたん」本文校訂の考察」、『明星大学研究紀要』(日本文学部・言語文化学科)第8号、pp. 19~30、明星大学日本文化学部、3. 30.
- 5 (単行書、監修・解説)『名画にみる国史の歩み』、近代出版社、4. 19.
- 6 (書評)「精神史の表現としての歴史絵画」、『神社新報』2551号、4. 24.
- 7 (論文)「森鷗外の翻訳文学」、佐藤泰正編『鷗外を読む』pp. 59~78、笠間書院、5. 31.
- 8 (論文)「国民教育の意義と使命」、『正論』7月号、pp. 126~135、産経新聞社、7. 1.
- 9 (論文)「文化概念の錯謬——森鷗外への和辻哲郎の不满」、『鷗外歴史文学集』第六卷月報、岩波書店、7. 24.
- 10 (論文・旧稿再録)「神道とキリスト教」、『現代神道研究集成』第十卷、pp. 437~462、神社新報社、6. 30.
- 11 (論文)「八月十五日と靖国神社」、『日本』8月号、pp. 14~21. 日本学協会、8. 1.
- 12 (書評)松本道介著『視点』、産経新聞朝刊、8. 7.
- 13 (書評)板垣正著『靖国公式参拝の総括』産経新聞朝刊、8. 13.
- 14 (単行本・講演筆録)『先帝陛下と靖国神社』、26PS.「全国賀茂神社連合講演録」第9輯、賀茂別雷神社、9. 1.
- 15 (論文・旧稿再録)「『舞姫』論」、『森鷗外作品論集成』クレス出版、10. 25.
- 16 (論文・旧稿再録)「『羅生門』恣考」、『芥川龍之介作品論集成』クレス出版、10. 25.
- 17 (論文・旧稿再録)「『阿部一族』改稿手続の不備について」、『鷗外歴史文学集』第二卷月報、岩波書店、10. 10.
- 18 (論文)「明治の精神」、『明治聖徳記念学会紀要』第31号、pp. 1~22、明治聖徳記念学会、12. 15. cf. B: 4.
- B : 1 (講演)「昭和の精神史一斑」、日華交流教育会新年例会、2. 5.
- 2 (講演)「国民教育論」、日華交流教育会第26回研討大会、3. 26.
- 3 (講演)「現下普通教育及び高等教育・研究上の諸問題」、時局懇話会国際フォーラム、6. 5.
- 4 (講演)「明治の精神——その衰退の悲劇」、明治聖徳記念学会、7. 1.
- 5 (講演)「台湾の国家的アイデンティティ」、日華文化協会主催日台協力国際シンポジウム、7. 29.
- 6 (講演)「大学の外国語教育の現状」、日本の高等教育を考える会例会、11. 17.

- 7 (講演)「政教関係から見た靖国問題」、政教関係を正す会例会、12. 9.
- C : 1 (対談)「西村真悟を弁護する」、vs クライン孝子、『正論』1月号、産経新聞社、1. 1.
- 2 (随筆)「ひたすら「読む」ばかり」、『VOICE』1月号、PHP 研究所、1. 1.
- 3 (散文)「『観潮楼附近』その他」、『佐藤春夫全集』第22巻月報、臨川書店、1. 10.
- 4 (対談)「復活か崩壊か——岐路に立つ日本」、vs 竹本忠雄、『日本の息吹』1月号、日本会議、1. 15.
- 5 (対談)「奪われた歴史の解釈権を取りもどせ」、vs 南丘喜八郎、『月刊日本』2月号、P. 14~20、K & K プレス、1. 22.
- 6 (論説)「『北方領土の日』を前に」、産経新聞朝刊「正論」欄、2. 4.
- 7 (随筆)「昭和天皇の世紀」、『文藝春秋臨時増刊・私たちが生きた20世紀』、文藝春秋、2. 15.
- 8 (論説)「語り伝へたい建国の物語」、『神社新報』第2542号、2. 21.
- 9 (論説)「国旗・国歌をめぐる」、『アジアレポート』320号、pp. 16~32、マスコミ総合研究所、2. 15.
- 10 (講演)「昭和史の再検証」、海上自衛隊教育航空群小月基地幹部会、2. 28.
- 11 (講演)「一文学者の見たる昭和陸軍」、同台経済懇話会三月例会、3. 8.
- 12 (論説)「宮内庁よ本分を忘れるな」、『正論』4月号、産経新聞社、4. 1.
- 13 (論説)「国の尊厳を第一に」、産経新聞朝刊「正論」欄、4. 7.
- 14 (論説)「新指導要領実施への危惧」、産経新聞朝刊「正論」欄、4. 20.
- 15 (講演)「主権意識の再生と高揚をめざして」、主権回復記念国民集会、4. 28.
- 16 (講演筆録)「一文学者より見たる昭和陸軍」、『同台』275号 pp. 1~15、同台経済懇話会発行、4. 30. cf. C. 11.
- 17 (論説)「東大の定年延長は学問の理に背く」、『THEMIS』6月号、テーマス社、5. 25.
- 18 (対談)「『被占領期』精神を超克せよ」、vs 井尻千男、『日本文化』第2号、拓殖大学日本文化研究所、5. 31.
- 19 (論説)「みたま祭に遊就館で英霊を想ふ」、産経新聞朝刊「正論」欄7. 9.
- 20 (散文)「人種偏見への天罰」、『諸君!』8月号、文藝春秋、8. 1.
- 21 (講演)「国際的視野より見た日本の国柄」、国民文化研究会、大学教官有志協議会夏期合宿セミナー、8. 4.
- 22 (散文)「皇太后陛下の崩御を悼み奉る」、『日本の息吹』8月号、日本会議、8. 15.
- 23 (論説)「靖国問題の再燃を憂ふ」、産経新聞朝刊「正論」欄、8. 16.
- 24 (講演筆録)「台湾の国家的アンデンティティ」、『アジアレポート』326号マスコミ総合研究所、9. 15. cf. B: 5.
- 25 (論説)「人道的支援の対象を誤るな」、産経新聞社朝刊「正論」欄、9. 25.
- 26 (論説)「国を売る人々の氾濫」、『史』23号、新しい歴史教科書をつくる会、9. 30.
- 27 (論説)「教科書外圧検定事件の教訓」、産経新聞朝刊「正論」欄、10. 19.
- 28 (単行書・座談会)『千年の祈り』、共著者：幡掛正浩、大原康男、所功、百地章、

- 「伊勢神宮崇敬会叢書」第六輯、伊勢神宮崇敬会、11. 1.
- 29 (論説)「看過すことのできない問題」、産経新聞朝刊「正論」欄、11. 18.
- 30 (鼎談)「日本人の気概、台湾人の心」、参加者：金美齡、小林よしのり、『正論』12月号、産経新聞社、12. 1.
- 31 (序文) Foreword to “*What really Happened in Nanking*” by Tanaka Masaaki, Sekai Shuppan, Inc., Tokyo. 12. 20.
- 32 (論文・旧稿再録)「キリスト教創造主と日本の神々」、西尾幹二編『地球日本史』①、扶桑社文庫、扶桑社、12. 30.

#### 佐々木 滋

- A : 1 「リヒテンベルクの生い立ちに関して」『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第8号、pp. 13~23、3. 25.
- D : 1 ハイน์リヒ・ハイネ・大学(デュッセルドルフ) JIDDISTIK 主催の「III. Symposium fuer Jiddische Studien in Deutschland」に8月28日~30日(2000年)参加。

#### 柴田雅生

- A : 1 「擬音語・擬態語の描写性について——平安時代における清濁をめぐる——」『想像力と現実描写』(明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集・第三輯)、pp. 204~232、3. 10.
- 2 「「どちな・きしりたん」の送り仮名(上)」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第8号、pp. 13~18、3. 25.
- 3 「国字本「どちな・きりしたん」の漢字について」『語から文章へ』(遠藤好英編)、pp. 75~88、8. 1.

#### 正慶 孝

- A : 1 (論文)「経済学的想像力とヴィジョン」(日本文化学部共同研究論集・第三輯「想像力と現実描写」所収、pp. 25~62、3月25日)
- 2 (文庫解説)「民主主義の学校」(千葉仁志著『負債総額250兆円特殊法人は国を潰す気か』所収解説、小学館文庫、pp. 216~220、10月1日)
- B : 1 (研究発表)「曲説政治経済学」(地下経済研究会、7月22日、於日本大学経済学部)
- C : 1 (論説)「『秩序と進歩』実現で政治経済学が甦る」(『財界にっぽん』3月号、pp. 22~25、3月1日)
- 2 (対談)「日本再生と色即是空の連関を語る」(『財界にっぽん』6月号、藤原肇氏、pp. 36~45、6月1日)
- 3 (新聞コメント)「新潟監禁事件」(『東京新聞』5月25日付)
- 4 (新聞コメント)「岡山金属バット殴打事件」(『東京新聞』6月24日付)
- 5 (TVコメント)「ウオッ!チャ」(フジTV、5月27日放送)

- 6 (TV コメント)「回復！スパスパ人間学」(TBSTV、6月8日放送)
- 7 (雑誌コメント)「司馬遼太郎を『神様』にしてはいけない」(『テーマス』8月号、8月1日)
- 8 (雑誌コメント)「日本の大人は『幼稚』になった」(『倫風』12月号、12月1日)
- 9 (講演)「異説・政治学、そして経済学」(平成文化フォーラム、11月9日、於お茶の水麦酒倶楽部)
- 10 (その他)「人間邂逅・政治の季節」(『プレジデント』9月18日号グラビアページ、岩間辰志氏、p. 27)
- 11 (その他)「教育」(「75字で書くエッセイ」、『ざっくばらん』11月1日号)

### 田中 敏

- A : 1 「誰が『記憶の暗殺者』か」、月刊誌『諸君!』10月号 pp. 170~179、文芸春秋、9. 1.
- 2 書評:「松原久子著『言挙げせよ日本』」、月刊誌『正論』平成13年1月号 pp. 362~363、産経新聞社、12. 1.

### 菱山覚一郎

- A : 1 「デューイ教育思想における『想像力』」、『想像力と現実描写』(明星大学日本文化学部共同研究論集・第三輯) pp. 87~103、3. 10.
- 2 「学習指導要領における『地域』概念、——初期社会科を中心に——」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科)第8号、pp. 99~108、3. 25.
- B : 1 (答申)「青梅市における完全学校週5日制に対応した社会教育のあり方について」、青梅市教育委員会、4. 28.
- 2 (発表)「初期社会科における問題解決学習の『問題』観——代表的カリキュラムプランの比較を中心に——」多摩地区教育研究会、7. 3.

### 秀村研二

- A : 1 「朝鮮の社会文化」吉田光男編『朝鮮の歴史と社会』pp. 187~197、放送大学教育振興会、3. 20.
- 2 「朝鮮の宗教文化」吉田光男編『朝鮮の歴史と社会』pp. 198~210、放送大学教育振興会、3. 20.
- 3 「朝鮮半島の新展示について」朝倉敏夫編『日本における韓国文化の表象』pp. 244~247、国立民族学博物館、7. 24.
- 4 「東アジアにおける韓国の社会と文化——文化人類学の視点から——」、『青梅会報』pp. 73~77、明星大学情報・日本文化学部育星会、10. 13.
- B : 1 「宗教と社会」学会、編集委員
- 2 朝鮮・韓国文化研究会、理事
- C : 1 「東アジアにおける韓国の社会と文化——文化人類学の視点から——」明星大学公開講座、6. 3.

- D : 1 韓国社会におけるキリスト教の受容に関する研究・調査、(大韓民国ソウル市、京畿道高楊市、慶尚北道迎日郡清河面清津里)、9. 4~16.

#### 深澤 清

- A : 1 「想像力による生への回帰——W. B. Yeats 後期の詩を中心にして」、『想像力と現実描写』(明星大学日本文化学部編)、pp. 233~256、3. 10.  
2 「インターネットを利用したリーディングの指導——よりインタラクティブな授業をめざして」『明星大学研究紀要』PP. 25~40。(日本文化学部・言語文化学科) 第8号、3. 25.  
B : 1 「ネットワークを利用したリーディングの指導——英語嫌いを好きにさせるための試み——」第30回中部地区英語教育学会石川大会 於金沢学院大学、6. 24.  
2 「三つの島に託された詩人の想い」日本イェイツ協会 第36回大会 於岡山県立大学、11. 5.  
3 日本ワイルド学会 幹事・書記 (通年)  
4 明星大学・モンタナ大学夏期語学研修プログラム学生引率

#### 丸山正義

- A : 1 「音楽を描写する」、『想像力と現実描写』(明星大学日本文化学部共同研究論集・第三輯)、pp. 275~284、3. 10.  
2 翻訳：アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ「グスタフ・マーラー」、『明星大学紀要』(日本文化学部言語文化学科) 第8号、pp. (73~83)、3. 25.  
3 「オペラに行こう」青梅会報、第16号、pp. 63~70、3. 1.  
D : 1 プルーストとディアギレフの関係について、フランス国立図書館にて資料収集、9. 1~9. 6.

#### 矢野浩三郎

- A : 1 翻訳：ピエール・ジャン・レミ『マリア・カラス：ひとりの女の生涯』(新装再刊版) みすず書房、388ps、1. 25.  
2 翻訳：ジョルジュ・シムノン『モンマルトルのメグレ』(文庫・新装再刊版) 河出書房新社、246ps、5. 2.  
3 翻訳：スチュアート・ウッズ『草の根』(改定文庫版) 文藝春秋、622ps、8. 10.  
4 翻訳：ケン・フォレット『ハンマー・オブ・エデン』小学館、661ps、12. 1.  
5 翻訳：ケン・フォレット『自由の地を求めて』(文庫上・下) 新潮社、(上) 354ps、(下) 386ps、12. 1.  
C : 1 公開講座：「美しい裏切り——翻訳という騙しのテクニック——」多摩地区大学サテライト公開講座(立川商工会議所) 7. 1.  
2 講演：「私の翻訳人生」TranNet セミナー(日本電子出版協会) 7. 22.



---

山下善明

- A : 1 Vorbemerkungen zu einer Bio-Ontologie, in : Grenzgebiete der Wissenschaft (Hrg. A. Resch) 49 Jg. 3Bd. Resch-Verlag S. 241-274.
- B : 1 質問者・通訳助手「ペッペル教授（ミュンヘン大学脳生理学教授）を囲んで」本田技研・共創フォーラム 2月14、15日
- 2 学会発表「以前と以後」、日本学術会議井口記念基金主催第28回セミナー「生命・場・生成」、箱根ホテル小涌園 4月29、30日
- C : 1 論説「戦争をめぐる言葉二題」、『日本及日本人』平成12年盛夏号、8月31日

和田正美

- A : 1 「芥川龍之介の想像力について——『六の宮の姫君』をめぐるつて」、『想像力と現実描写』（明星大学日本文化学部共同研究論集・第三輯）、pp. 312~328、3. 10.
- 2 「或る英文学者への直言——宮崎芳三著『太平洋戦争と英文学者』に寄せて」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第8号、pp. 49~54、3. 25.
- 3 「レーモン・アロン回想録」、『自伝の名著 101』pp. 210~211 新書館 11. 25.

万恵洲

- A : 1 漢語対欧化的語法選択（下）明星大学研究紀要（日本文化学部・言語文化学科）第8号 pp. 51~64.

---

平成 12 年 日本文化学部共同研究会（任意参加）が以下の通り開催されました。

第 12 回 主題「文化の翻訳、翻訳の文化」5. 23.

講演者 奥泉榮三郎（シカゴ大学図書館司書）「詔勅の英訳について」日本文化学部棟 1F：AV 教室（N-103）

第 13 回 主題「精神史における〈伝統と前衛〉」6. 20.

発表者 小堀桂一郎（言語文化学科）「歌謡に見る昭和の精神史」日本文化学部棟 4F：言語文化学科図書資料室（N-421）